



キリスト教センター通信 2022年7月12日 第60号

### 前期が終わるにあたって

チャプレン 司祭 トマス 河村博之

7月になり前期の授業も数えるほどになりました。4月に原則として対面授業で始まりましたが、いかがでしたか。入学して希望を持っていますか。就職活動で忙しいですか。部活動はどうでしょうか。それとも、こんなはずじゃなかったと悔やんでいますか。心と体のバランスはどうでしょうか。

チャペルでは月曜日~金曜日の13:00から「昼の礼拝」を行っています。昨年までは火・金曜日にエントランスホール(入口)で礼拝を行ってきましたが、上限20名で席の間隔を空ける、手指の消毒、マスク着用という制約のなかで何とかここまで行うことができました。神様に感謝します。参加してくださった学生・教職員、外部関係者の方に感謝申し上げます。学生のなかから聖書朗読の奉仕者が与えられ、パイプオルガンの奏楽もありました。毎日15分という時間ですが、祈りと講話、奏楽の時間が与えられました。コツコツと続けてきたおかげでしょうか。10名ほどが様々な思いをもって、チャペルに集まっています。

また、今期から始めたばかりのパイブルカフェは、チャペルに集まる学生の希望をもとに「中国語と日本語の聖書の読み比べ」と「平和について(ヒロシマ平和旅考を振り返って)」をテーマに行うことができました。どちらも今後の展開が楽しみです。

このように、チャペルには無限の可能性があります。六甲アイランドから世界中に広がっています。神様をこの世に表現するチャペルは、一人の設計者のものではありません。その場所が祝福に満ちたものであることを表します。

私が一学生だった頃、当時の大学のチャプレンは、神様の大きさと人間の小ささをこのような思いと言葉と行いとで示してくださいました。

みなさんがチャペルのあるこの大学に親しみを感じていただけるように祈っております。



一口メモ 「α (アルファ)とΩ (オメガ)」

「わたしは初め(α)であり、終わり(Ω)である」  
(ヨハネの黙示録 1:8)

「神様は全能である」ということをギリシャ語で表しています。永遠なる神の大きさを表します。

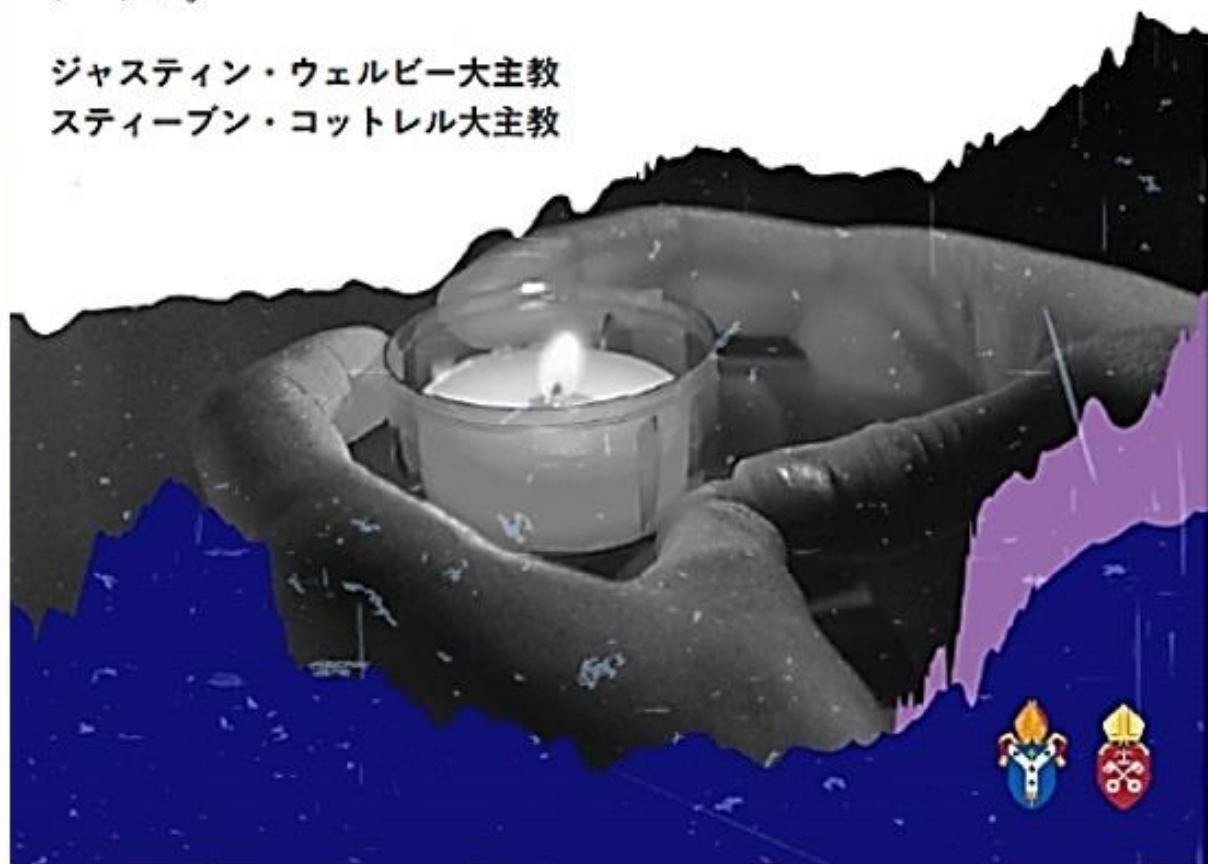
ギリシャ文字は別の使い方でいろいろな話題になりましたね。α(アルファ)・β(ベータ)・ο(オミクロン)…。いつかΩ(オメガ)株が出てくるのでしょうか？

Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ
Alpha	Beta	Gamma	Delta	Epsilon	Zeta
Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ
Eta	Theta	Iota	Kappa	Lambda	Mu
Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ
Nu	Xi	Omicron	Pi	Rho	Sigma
Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω
Tau	Upsilon	Phi	Chi	Psi	Omega

## ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、  
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。  
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。  
明日を恐れるすべての人々に、  
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。  
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、  
み旨に適う決断へと導かれますように。  
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な子ども  
たちのために、  
あなたがウクライナの人々を抱き守ってくださいますように。  
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。  
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教  
スティーブン・コットレル大主教



神戸国際大学